

経営の 多角化 6次産業化のエース

 太陽光利用した

培養土の自動造粒機

農業研究所の
特許より展開した
ダブル攪拌
ローター式が特徴

仕様

- 造粒ハウス
幅360cm×高さ300cm 長さは任意
- 造粒レーン
幅70cm×深さ15cm 長さは最少5ML
- 装置
高さ120cm×幅120cm×長さ135cm
- 制御
造粒自動運転/手動運転 インバーター制御
- 攪拌
ダブル攪拌羽根18枚
モーター0.4KW
(攪拌回転数 10~57rpm)
- 走行
モーター0.2KW
(速度 0.3~3M/min)
- 供給電力
3相200V×15A トロリー給電
- 培土感知
前後1か所
- 端部停止
前後1か所
- 緊急停止
制御盤内



最小5mで
設置可能



造粒前



攪拌1回目



攪拌20回目

鉢底土~目土まで
(10mm以下) (1mm以下)
利用できる高い効率

軽量化資材・肥料成分を添加することにより
の製造が
安価な 機能性培土 可能

浄水場の浄水ケーキの造粒化への展開など、さまざまな利用法が考えられます。